

2024年 「伊勢」と日本スタディプログラム 最終レポート

商人と文人の伊勢

河崎は伊勢市駅から北へ約1キロにある。河崎は勢田川に隣接しており、戦国時代から、その便利な水運機能が物資輸送の手段として次第に戦国大名に重宝されるようになった。江戸時代、平和が訪れ、日本中が伊勢神宮に参拝するようになると、河崎は神宮に近いし、水運も便利であったことから、商人や参拝客が集まる場所となり、「伊勢の台所」と呼ばれて賑わっていく。

この交流事業の講義やフィールドワークから、当時、関東では金、関西では銀、一般通貨は銅が決済通貨であり、地域間の交易が不便であったため、伊勢では日本初の紙幣「山田羽書」が生まれたことを知った。このような通貨が伊勢だけで使われていたことは、当時のこの地域の商業の繁栄を物語っている。しかし、このように紹介すると、河崎が商業の発展した地域であるだけかのような印象を与えるかもしれない。実際、当時の商人は時々優れた蔵書家でもあり、時には文人たちをもてなすこともあった。必ずしも知識がほしくなくても、文人は蔵書の豊富さに惹かれて河崎を訪れたり、ここで学問をしたりしたのである。江戸時代の有名な国学者、本居宣長は伊勢の生まれである。商人の家に生まれた彼は、商売に興味がなかったとはいえ、この地域の比較的豊かな生活環境のおかげで、一途に学問に励むことができたことは否定できない。このように、伊勢は豊かなビジネス環境と強い学問的な雰囲気と併せ持つというユニークな姿を示している。

「伊勢」と日本スタディプログラムは、基本的に午前は講義、午後はフィールドワークや体験と、かなり充実している。講義はさまざまな専門分野を持つ先生によって行われ、非常に高い水準のものである。もしこのような知識がなければ見逃すこともいっぱいあるかもしれない、例えば、河崎はかつての商業の中心地だけだと知って、文化的な側面を見落としがちである。

Ise and Japan Study Program 2024

商人與文人的伊勢

從伊勢市站往北走約一公里，就能抵達河崎。河崎在勢田川旁，於戰國時代開始，其方便的水運功能逐漸受到戰國大名重視，用作運送物資。到了江戶時代，因社會和平，全日本興起了到伊勢的神宮參拜的熱潮，河崎因其靠近神宮，加上水運方便，一躍成為商人、參拜者的聚集地，其熱鬧程度，有「伊勢的廚房」之稱。

從這交流計劃的課堂讓我知道，當時關東的結算貨幣為金，關西則為銀，而一般貨幣則為銅錢，使各地商貿來往並不方便，於伊勢產生了日本最早的紙幣「山田羽書」。這種貨幣只限伊勢使用，可見當時此地商業的旺盛。但是，這樣的介紹，可能會予人河崎只是一個商業發達之地。事實上，由於當時商人亦好藏書，有時會招待文人，雖然他們未必一定喜好知識，但因商業發達、藏書豐富，又吸引了文人前來或在地此精進學問。江戶時代著名的國學者本居宣長就是出生於伊勢。他誕生於商人家庭，儘管他對營商沒有興趣，但無可否認，此地相對富裕的生活條件，讓他能無後顧之憂地讀書、鑽研學問。這樣，伊勢呈現了獨特的景象：它既有豐盛的商業環境，亦有濃厚的文人氣息。

Ise and Japan study program 相當充實，每日基本上是上午為講義，下午為實地考察與體驗。講義由不同專長的教師擔任，內容淵博，水平極高。如果缺乏這些知識，是無法真正享受伊勢各處的深奧與趣味所在，例如，可能只會看到河崎從前的商業繁盛，卻容易忽略其也有文化氣息的一面。